



その愛は...

本当の喜びの泉。

I S E G N A L I B R I  
di TEEN

ICare本のしおりにして一か月間生きるよう思い出しましょう。

パオロ

イタリア

**新**

しいクラスメートたちとのむずかしい新しい学期が始まり後、夏休みをとても待ちどうしく思いながら過ごしていました。

家族で毎年行っている夏の海辺のキャンプがあり、そこで友だちもぼくのこと待っていました。

電話が鳴って、神父様でした。1か月青少年のグループのリーダーをしてくれないかという電話でした。

両親と予定をみてみると言ってすぐには答えませんでした。

11

夏休みを返上して



ぼくの中では、行かれないとはっきりした答えが出ていました。教会に通っていて今まで具体的になにかしなくてはならないことはありませんでした。

家で何かしながら、ときどき神父様に頼まれたことが心に浮かびました。いろいろやれない理由を考えました。今までこんな役割を引き受けたこともなく、まだとても若いし、他の人がいるだろうに。

でも自分の心に喜びがありませんでした。そうしているうちに、「これを頼んだのは、私だよ。」とイエス様が言っているのを感じました。少し前からイエス様のことをもっとよく知るようになっていました。いのちの言葉を通して、もっとも小さい者を愛するようイエス様が頼んでいたのを感じました。

その夜に両親に神父様の依頼について話しました。ぼくがどう思っているかと聞いてきた時、喜んでそれを引き受けてキャンプは延期してもいいと答えました。

iCare

命の泉はあなたにある。(詩編36,10)

11

Da un commento di Chiara Lubich - Adattamento Centro Gen 3



あらゆる  
しあわせ  
の  
泉



感謝の  
賛歌



神と  
出会うことが  
できる  
いろいろな機会

**み** 言葉はまず「命の泉はただ一つ、それは神である」と告げています。世界は神から、創造主でおられる神の愛から生まれ、人が住まう所となりました。

神への賛美と感謝が、心から湧き出ること。これが、私たちのすべき最初の一歩であり、第一の教えでしょう。すなわち、すべての業と美しい宇宙、そして人間を造られた神に感謝し、神をたたえることです。

**私** たちは「イエスの時代に生きられたら、どれほどすばらしいだろう!」と思うかもしれません。しかしイエスは、パレスチナの片隅だけでなく、地上のあらゆるところにとどまるための方法を愛によって生み出されました。すなわち、約束された通り、イエスはご聖体の内にいてくださるのです。この源から、私たちは命の水を飲み、養われ、生活を新たにしていくことができます。

**神** の存在という生きた水のもう一つの泉は、兄弟姉妹です。私たちの周りにいるすべての隣人、特に助けを必要としている人を愛する時、私たちが相手を助けるというよりも、相手の方が私たちに恩恵を施してくれるのです。また、私たちの内におられる神の存在も、泉だと言えます。神はいつも語っておられます。私たちが神と隣人を愛そうと努めれば努めるほど、神の声は心の中で一層はっきりと聞こえるようになります。

**特** に適した瞬間があります。それは、祈る時、魂の奥におられる神と直接関係を深めようと努める時です。望む時にはいつもそこから水を汲むことができ、どんな時でも渴きをいやすることができます。たとえ周りの状態が砂漠のように乾ききっていても、私たちがこの泉を見つけるためには、一瞬魂の扉を閉じて、心の奥深くに入るだけ十分でしょう。